

テーマ

みんなのふるさと平田中学校区の魅力を再発見しよう！

事業実施地区（中学校区名）	出雲市立平田中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	平田コミュニティセンター、国富コミュニティセンター、西田コミュニティセンター、鱈淵コミュニティセンター、久多美コミュニティセンター、北浜コミュニティセンター、佐香コミュニティセンター

テーマの背景

平田中学校区は、平成27年度に出雲市立光中学校と統合し、新たに鱈淵、北浜、西田の3地区が加わったことにより、7地区（7コミュニティセンター）により構成されることとなった。

学校、地域ともに新たな校区が浸透しつつあるが、ここで、平田中学校区に対する理解をさらに高め、この7地区は「みんなのふるさと」である、という一体感を醸成したいと考えた。

その手段として、7地区に存在する名所旧跡、伝統文化などをマップにし、集って学習してもらうことで、本校区の魅力を再発見し、郷土への誇りや愛着を持つきっかけとなれば良いと構想した。

実際の取組

③子供たちに伝えたいテーマ・題材の事業実施

事業名：「平田中学校区ふるさとマップ」の新規制作

<取組の概要>

平田中学校区を構成する7地区毎におおむね5箇所程度の名所旧跡等の写真と解説文を盛り込んだ「平田中学校区ふるさとマップ」を各コミュニティセンターが連携して制作した。

なお、マップの構成、デザイン、内容に関しては、7地区コミュニティセンターが約6回にわたって会議の場を設け、話し合いを重ねた。



<成果と課題>

完成したマップは、平田中学校全校生徒のほか当校区内の各小学校などへも配布した。

また、一般の方にもマスコミやコミュニティセンターだよりを通してPRし、希望者には渡している。マップを手にした方々には好評で、「マップがほしい。」という方が後をたたない。

身近にあるはずの名所旧跡、伝統文化だが、「初めて知った。」あるいは「再認識した。」という方も多く、今後ともより多くの方にマップを手にしていただき、郷土の魅力を再発見していただきたいと考えている。

#### ④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：「平田中学校区ふるさとの名所旧跡等説明会」の実施

##### <取組の概要>

日時：平成30年10月29日（月）

13時40分～14時20分

会場：出雲市立平田中学校体育館

平田中学校全校生徒約430名に対し、「平田中学校区ふるさとマップ」を説明資料とし、平田中学校区を構成する7地区のコミュニティセンター長からふるさとの名所旧跡等の説明を行った。



##### <成果と課題>

当説明会終了後にいただいた中学生による感想文を見ると、「この平田中学校には、様々な地域の人があります。今日は、みんなの地区の素晴らしさを知ることができたので良かったです。」「見たことがあったり、聞いたことのある話もありましたが、ほとんど知らないことばかりでした。」「今日のふるさと学習を振り返って、自分の地区のことだけでなく、中学校区の歴史的に重要な場所を知ることができ、とても勉強になりました。」などといった意義ある感想がたくさんあった。

これらを素直に解釈するならば、当初の目的の一つである平田中学校区の魅力を再発見するためのきっかけづくりはできたのではないかと感じる。

今後、中学生にはマップを活用し、ふるさと学習を深めてもらい、ふるさとを誇れる人材に育ててほしい。また、各コミュニティセンターとしては、小学生や一般の方にも説明する機会を設けるなどして、ふるさと教育をさらに推進していきたいと考えている。

#### まとめ

##### テーマに迫るためのポイント

各地区のふるさとマップについては、すでに整備されているところも多いが、今回の取り組みのように、一つの中学校区単位でのマップはこれまでになく、制作した意義は大きかった。

身近にある宝物を中学校区を同じにする者で共有しようという試みが、今回の取り組みのポイントでもある。

##### 今後の展望

身近にあるはずの名所旧跡、伝統文化であるが、その由来等は意外と知られていないことがわかった。

ふるさとマップを作成し、内容を説明することで故郷を知るきっかけになったことは確かである。

しかしながら、これは、ふるさと学習の第一歩であり、今後、このような身近な題材を日本や世界の歴史と関連付けて考えてみるなど工夫し、ふるさと学習に広がりをもたせることが重要である。また、先人が残した知恵や教訓を現代に活かすことが大切で、ふるさと学習は単なる昔話で終わってはならないと考える。

～公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業～  
公民館ふるさと教育推進事業 取組事例